

特集

節電の夏

みんなで力を合わせて取り組もう！

消費電力量がピークを迎える夏。未曾有の大災害の影響で全国的に電力供給が厳しい状況となっています。私たちがこれまでのように電気を使い続けると大規模な停電が起こる可能性があります。そうなる前に、皆さんの協力が重要です。ともに「電気」のことについて考えてみましょう。

知ってそうで知らない「電気」のこと なぜ節電が必要なのか

生活に欠かせない電気
家に帰り、スイッチを押せば明かりがつく。今では当たり前前の光景ですが、絶えず送り届けられる「電気」のおかげで、私たちは便利で安心な生活を送ることができています。

電気は貯められない

電気は、全国に点在する発電所で作られ、日本中に張り巡らされている電線を通じて各家庭へ供給されています。性質上、大容量の電気を貯めておくことができないため、電力会社が消費される電力量をあらかじめ予測し、需要と供給のバランスを保ちながら発電を行っています。

万が一発電量に余力がなくなり、消費量が発電量を上回ると大規模な停電が起こる可能性があります。

あらゆる手段をフル稼働

現在、すべての原子力発電所が運転を停止しています。これまで、原子力発電で賄っていた電力

みんなで立ち向かわなければ！ 電力の危機

量を補おうと火力発電のフル稼働など、あらゆる手段で対応しています。消費電力がピークを迎える夏の電力を賄うことができる程の供給量を生み出すことが困難な状況です。

迫る「電力の危機」

震災などの影響でこれまでにない電力の危機が生じています。昨年の夏も同様に節電をお願いし、皆様のご協力により乗り越えることができましたが、今年の夏は昨年の節電の効果を見込んだとしても、極めて厳しい状況となることが予想されています。

家庭でも効果的な節電を

家庭で使われている電気使用量を用途別にみると、エアコンが最も多く、次いで冷蔵庫、照明、テレビと続きます。夏季に限ればエアコンの消費電力は約半分を占めています。これらをはじめとする電気製品を上手に使うことで、効果的に節電

九州電力大村営業所からのメッセージ

大村市民の皆さまには、昨年の夏、冬にお願いした節電についてご協力いただき、無事乗り切ることができました。ご協力に心よりお礼を申し上げます。

現在、すべての原子力発電所が停止しており、あらゆる努力を行なっておりますが、今夏は昨年ご協力いただいた節電を見込んで、大変厳しい状況で、市民の皆さまには、引き続き節電をお願いせざるを得ません。ご不便、ご迷惑をおかけしますが、何とか無事に乗り切りたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、節電をお願いしたい目標値がこれまでよりも厳しい数値であるうえ、今夏は昨年よりも暑くなる予報も出ています。過度な節電でご健康を害されることのない範囲でのご協力をお願いいたします。

緊急時の節電ご協力
 お願いメールの登録を！

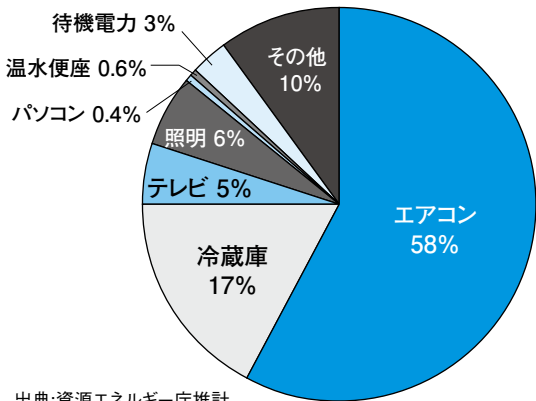
九州電力では、節電にご協力いただける人に対し、電力の需給状況が大変厳しい場合に「緊急時の節電ご協力お願いメール」を配信します。登録し、メールが届いたら、エアコンを控えるなどの節電協力をお願いします。
 ※あらかじめ登録が必要です。九州電力のホームページまたはQRコードからご登録ください。
 なお、ご登録1件につき100円を九州電力から被災地へ寄付いたします。



今日の使用率は？
 「でんき予報」を掲載

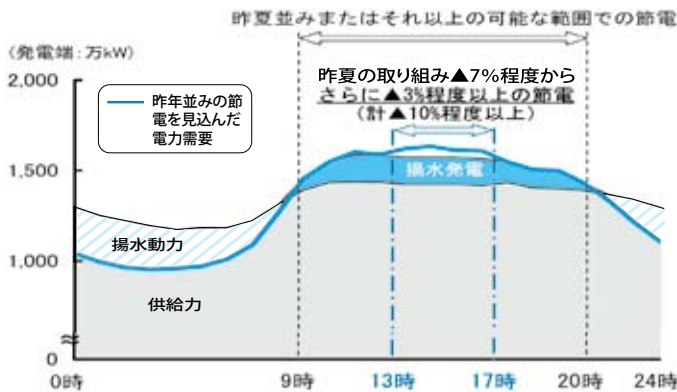
九州電力のホームページでは、「本日のでんき予報」(日々の需給状況)、「週間でんき予報」(週間の需給見通し)を掲載しています。日々の生活や節電にお役立てください。

夏の日中(午後2時頃)の家庭での消費電力



出典:資源エネルギー庁推計

節電にご協力いただきたい時間帯



電気製品は上手に使う
 節電の意識を高めよう

安定した電力供給のため
 また、使用量のピーク時を避けて電気製品を使用することも、電力供給を安定に保つためには重要なポイントです。夏場は特に、活動を始める朝の時間帯と、気温が上昇しエアコンを使う午後1時～3時ごろ、そして夕食時に消費量が多くなります。この時間帯に節電を意識することで、ピーク時の電力消費を抑えることができます。

することができず。
 例えば、エアコンが約1,000ワットに対し、扇風機は約30ワット。電気量は、ワット数(消費電力)×時間であるため、エアコン1時間分の電気消費量は約30時間使用できる計算になります。つまり、使用量を減らすにはワット数が低いものを使うか使用時間を減らせばよいわけです。エアコンを使用する時間を減らし、その分冷気を扇風機で循環させることで、簡単に節電できます。

ひとりひとりが取り組めば大きな力に
 ご協力をお願いします

皆の力で乗り越えよう！
 これを達成するためには、企業だけでなく各家庭でも本格的に節電が必要です。しかし、皆さんが意識し節電に取り組むことで、たとえ小さなものでも市全体となれば大きな効果をもたらします。
 電気がない生活は、電気に頼りきった私たちの生活に不便と不安をもたらします。一人ひとりが節電を心がければ今夏の電力不足を乗り切るだけでなく、将来的には地球環境も救うはず。

九電からの節電要請
 九州電力は、需給の逼迫が予想される、7月2日(月)から9月7日(金)までの期間の平日(お盆期間を除く)、午前9時から午後8時の間、一昨年比▲10%程度以上の使用最大電力の節電を呼びかけています。また、特に気温が高く電力需要がピークに達する時間帯(九州では午後1時～5時)には、重点的な節電をお願いしたいとのことです。

癒しのグリーンカーテンで快適な夏

こみね くにあき
小嶺 邦昭さん(杭出津1丁目)

グリーンカーテンの取り組みを始めて4年目になる小嶺さん。外気温との差が5度近くもあり、真夏もほとんどエアコンは使わないそうです。この取り組みが評価され、昨年のグリーンカーテンコンテストで見事最優秀賞を受賞されました。

始めたきっかけは「家族みんながゴーヤ好き」で始められたそうで、今年は土づくりにも力を入れました。小嶺さんは「緑があると朝さわやかな気分になり癒されています。つるは7月には2階まで達し、ウッドデッキは覆われてしまうため、室内は夏でも扇風機で十分。節電効果はバツグンです。地球に負担をかけないよう節電に取り組みたい。」と語っていただきました。



interview



▲グリーンカーテンコンテスト最優秀賞を受賞



▲7月には覆ってしまうそうです

グリーンカーテンで夏を涼しく 天然エアコンで節電



楽しみながらできるグリーンカーテンとは、朝顔やゴーヤなどのつる性植物をネットにはわせた「自然のカーテン」のことで、日差しをさえぎり、葉から水分が蒸発するため周りの熱を冷やし、周辺を涼しくする効果があります。つる性の植物は成長が早く、毎日の水やりなどで花や実を楽しみながら取り組むことができます。

楽しみながらできるグリーンカーテンとは、朝顔やゴーヤなどのつる性植物をネットにはわせた「自然のカーテン」のことで、日差しをさえぎり、葉から水分が蒸発するため周りの熱を冷やし、周辺を涼しくする効果があります。つる性の植物は成長が早く、毎日の水やりなどで花や実を楽しみながら取り組むことができます。

楽しみながらできる



グリーンカーテンコンテスト参加者を募集しています

より一層夏の節電、省エネに取り組んでいただくため、グリーンカーテンコンテストを実施しています。天然エアコンを体験して応募ください。

応募資格 市内の建物などにつる性植物を使って「グリーンカーテン」や「壁面緑化」に取り組んでいる人、団体

応募方法 所定の応募用紙に写真3枚を添えて郵送またはご持参ください。※詳しくは応募チラシをご覧ください。

表彰 最優秀賞：商品券3万円分(1人)、部門賞：同1万円分(3人)、特別賞：同2千円分(5人)

申込期限 9月28日(金)

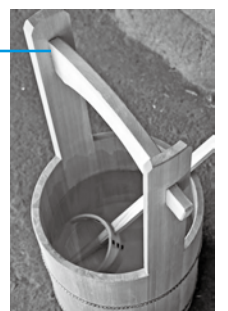
■申し込み・問い合わせ
環境保全課(内線142)

夏を快適に過ごすために

「涼」のアイデア

打ち水

庭や道路に水をまく、日本伝統の風習。お風呂の残り湯などを使用するとエコ。



うちわ・せんす

言わずと知れた夏の必需品。子どもたちにはやさしい風で暑さ対策。



夏野菜

トマトやキュウリなどの夏野菜は体を冷やす作用があります。



風鈴

夏の風物詩。涼やかな音色を聞けば、しばし暑さも忘れます。



すだれ・よしず

江戸時代からの伝統的な生活の知恵。軒下やベランダに立てかけて日差しをさえぎろう。





これなら
家庭でできる!

「節電」のポイントチェック

1. エアコンで節電



- 設定温度は28度を目安に
- 運転時間を1時間減らす
- 扇風機を併用する
- タイマーを活用する
- フィルターは月に1、2回掃除する
- 室外機にも日よけを
- 室外機の吹き出し口に物を置かない

2. テレビで節電



- 消すときは主電源を切る
- 見ていないときはこまめに消す
- テレビ画面の明るさを調整
- 音量を抑える
- 画面のほこりを取る(明るさキープ)
- つけっぱなしを防止する

3. 冷蔵庫で節電



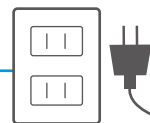
- 設定温度を中～弱に
- 扉の開閉を少なく、中身の整理を
- 保冷カーテンを利用する
- 熱いものは十分冷ましてから入れる
- トレーなどを利用し出し入れをスムーズに
- 壁から5cm程度間隔をあける

4. 照明器具で節電



- LED電球に買い替える
- 誰もいない場所は照明を消す
- 長時間使用またはオンオフが多い場所にはLED電球を
- 照明器具のほこりを取る(明るさアップ)
- 家族団らん1部屋で過ごす

5. 待機電力を抑えて

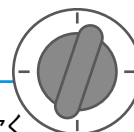


- 使用していない機器はプラグを抜く
- スイッチ付きタップを利用する

◇待機電力の多い主な家電製品

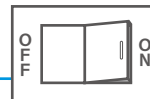
- ・デスクトップパソコン
- ・パソコン周辺機器
- ・HDDレコーダー
- ・テレビゲーム
- ・液晶テレビ

6. タイマーを活用する



- 炊飯器は早朝にタイマーで炊く
- 洗濯機は早朝や深夜にタイマーを活用し済ませる
- テレビのつけっぱなしをタイマー機能で防止する
- エアコンはタイマー機能で運転時間を減らす

7. 他にもこんなところで



- 温湿度計を設置し、常にチェック
- 温水洗浄便座の温度は低めに、使わないときは便座のふたを閉める
- 掃除機をかける前にほうきやぞうきがけを
- 洗濯物はまとめて洗いを
- 涼しい衣服で、こまめに水分補給
- 電気ポットの使用は控える
- 送水にも電気が使われています。蛇口をこまめに閉め、シャワーも短くする

節電は「我慢」するのではなく 家庭の使用範囲のみで使うこと

「節電」は我慢するのではなく、無駄を省くことが大きなポイントです。電気を自分の使用範囲のみで使うことを心がけ、ライフスタイルを見直すことが重要です。

無理な我慢はせず、熱中症や衛生面にも十分気を付けて、無理のない範囲でのご協力をお願いします。